年間授業計画　様式例

高等学校　令和８年度（３学年用）　教科　　国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　組～　　組

教科担当者：（　組：松井武士）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（　大修館書店　　新編　言語文化　　）

科目　　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う 。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
	現代　1　ことばと出会う 『水かまきり』 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解させる。［(1)エ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価させる。［B (1) ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取らせる。	・指導事項：・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。 ・オノマトペの表現効果をとらえる。 ・教材：教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。［(1)エ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。［B (1) ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	古文　1　古文に親しむ 古文への招待 『いろは歌』 ◆参考　いろはカルタの世界 古文冒頭選 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解させる。［(1)ア］ ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解させる。［(2)エ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。［B (1) イ］ ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価させる。［B (1) ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わせる。	・指導事項：・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。 ・教材：教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。［(1)ア］ ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。［(2)エ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。［B (1) イ］ ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。［B (1) ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	○	○	○	3
	古文　1　古文に親しむ 『児のそら寝』 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［(2) ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。［B (1) ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。［B (1) イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	・指導事項：・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。 ・教材：教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［(2) ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。［B (1) ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。［B (1) イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1

現代　2　表現を味わう 『とんかつ』 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解させる。［(1)エ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価させる。［B(1)ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解させる。	・指導事項：・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。 ・教材：教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。［(1)エ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。［B(1)ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	○	○	○	4
古文　1　古文に親しむ 『阿蘇の史、盗人にあひてのがるること』 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取らせる。	・指導事項：・段落ごとのまとまりを意識しながら読む。 ・事件の展開と、登場人物の行動を読み取る。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	4
古文　2　随筆を楽しむ 『徒然草』　高名の木登り／公世の二位のせうとに／奥山に猫またといふもの／神無月のころ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもたせる。	・指導事項：・音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
古文　2　随筆を楽しむ 『枕草子』　春はあけぼの／うつくしきもの／にくきもの 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にさせる。［A(1)ア］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『枕草子』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもたせる。	・指導事項：・音読して古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。［A(1)ア］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『枕草子』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	○	○	○	6
現代　1　ことばと出会う (参考)季節の言葉と出会う ＊日本人の季節感→古典との関わり 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解させる。［(1)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れている筆者のものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈させる。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統的な自然観や美意識について筆者の主張をとらえることに興味をもち、季語や日本独特の自然の味わい方に対して関心をもたせる。	・指導事項：・日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 ・季語に興味をもつとともに、日本独特の自然の味わい方について、自分の考えを深める。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。［(1)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れている筆者のものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統的な自然観や美意識について筆者の主張をとらえることに興味をもち、季語や日本独特の自然の味わい方に対して関心をもとうとしている。	○	○	○	2
現代　1　ことばと出会う 漢字と仮名の使い分け ＊漢文と日本語の関わり→漢文学習への準備 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにさせる。［(1)ウ］ ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえさせる。［B(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やさせる。	・指導事項：・日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 ・表記に興味をもち、調べたり考えたりする。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。［(1)ウ］ ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。［B(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。	○	○	○	2

2学期	古文　1　古文に親しむ 十二の「子」文字 →漢文訓読に関わる短い話 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。［(2)ア］ ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解させる。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。［B(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容を積極的に読み取ろうとしている。漢字の読みの多様性について関心を深めさせる。	・指導事項：・誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 ・漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。［(2)ア］ ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。［B(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容を積極的に読み取ろうとしている。漢字の読みの多様性について関心を深めようとしている。	○	○	○	2
	定期考査						○	○		1
	漢文　1　漢文に親しむ 訓読のきまり／格言／再読文字 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。［(2)ア］ ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもたせる。［B(1)オ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組ませる。	・指導事項：・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。［(2)ア］ ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。［B(1)オ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	漢文　2　現代に生きることば 『守株』 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組ませる。	・指導事項：・「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	漢文　2　現代に生きることば 『五十歩百歩』 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めさせる。	・指導事項：・「五十歩百歩」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1

3学期	現代　3　文化を見つめる 『足し算の文化』 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえさせる。［B(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めさせる。	・指導事項：・日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 ・身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。［B(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	現代　4　物語を受け継ぐ 『羅生門』 ◆参考『今昔物語集』巻第二九第一八 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使わせる。［(1)イ］ ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めさせる。［(2)カ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。［B(1)イ］ ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価させる。［B(1)ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わらせる。	・指導事項：・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。		○	○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。［(1)イ］ ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。［(2)カ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。［B(1)イ］ ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。［B(1)ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
										合計
										70

年間授業計画　様式例

高等学校　令和８年度（３学年用）　教科　　国語　　科目　　国語表現

教　科：　　国語　　科　目：　　国語表現　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　組～　　組

教科担当者：（　組：松井武士）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（　　東京書籍　　国語表現　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【主体的に学習に取り組む態度】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　国語表現　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う 。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	表現とは何か ［知技］ ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めさせる。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，視点を明確にして聞きながら，話の内容に対する共感を伝えたり，相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして，自分の思いや考えを広げたり深めさせる。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫させる。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直させる。 ［主］導入のミニゲームを通じて，傾聴や身体表現などを進んで自ら体験し，学習課題に沿って表現が伝わったときの喜びを理解させる。	・指導事項：・冒頭の文章や「表現の窓」の文章を読んで，「表現とは何か」について考える。 ・さまざまなゲームに取り組み，表現を学ぶ際に重要なことを体験的に知る。 ・教材：教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○		［知技］ ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，視点を明確にして聞きながら，話の内容に対する共感を伝えたり，相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ［主］導入のミニゲームを通じて，傾聴や身体表現などを進んで自ら体験し，学習課題に沿って表現が伝わったときの喜びを理解しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	1　分かりやすく説明しよう＜情報の整理・伝達＞ ［知技］ ・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解させる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けをさせる。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めさせる。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め，他者との多様な交流を想定しながら情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の主張の合理性が伝わるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の展開や構成を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫させる。 ・「書くこと」において，読み手の同意が得られるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，反論などを想定して，論理の展開を考えるなど，文章の展開や構成を工夫させる。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫させる。 ・「書くこと」において，自分の思いや考えを明確にし，事象を的確に描写したり説明したりするなど，表現の仕方を工夫させる。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直させる。 ［主］分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとし，学習課題に沿って，言葉選びや言葉遣い，情報の整理などの観点から，説明の仕方を改善させる。	・指導事項：・情報を整理し，「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて，分かりやすく伝える方法を身につける。 ・学習を通じて得られた「分かりやすく説明する方法」を，日常生活においても状況に応じて使えるようにする。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○		［知技］ ・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けている。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め，他者との多様な交流を想定しながら情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の主張の合理性が伝わるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手の同意が得られるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，反論などを想定して，論理の展開を考えるなど，文章の展開や構成を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の思いや考えを明確にし，事象を的確に描写したり説明したりするなど，表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ［主］分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとし，学習課題に沿って，言葉選びや言葉遣い，情報の整理などの観点から，説明の仕方を改善しようとしている。	○	○	○	6

	定期考査						○	○		1

2学期	2　身体で表現しよう ［知技］ ・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解させる。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，視点を明確にして聞きながら，話の内容に対する共感を伝えたり，相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして，自分の思いや考えを広げたり深めさせる。 ［主］即興で演じる活動を通じて，身体が表現することを積極的に意識し，スピーチや発表などの際に効果的に伝えられるよう，今までの学習を生かして表現の仕方を改善させる。	・指導事項：・自分の身体が表現しているものについて考えを深める。 ・演劇的な活動に取り組み，自分の身体を効果的に使って表現するスキルを身につける。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○		［知技］ ・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，視点を明確にして聞きながら，話の内容に対する共感を伝えたり，相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ［主］即興で演じる活動を通じて，身体が表現することを積極的に意識し，スピーチや発表などの際に効果的に伝えられるよう，今までの学習を生かして表現の仕方を改善しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	3　「問い」を考えよう＜インタビュー＞ ［知技］ ・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解させる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けさせる。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めさせる。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め，他者との多様な交流を想定しながら情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の主張の合理性が伝わるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の展開や構成を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，視点を明確にして聞きながら，話の内容に対する共感を伝えたり，相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして，自分の思いや考えを広げたり深めさせる。 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にさせる。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫させる。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫させる。 ・「書くこと」において，自分の思いや考えを明確にし，事象を的確に描写したり説明したりするなど，表現の仕方を工夫させる。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直させる。 ［主］コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを粘り強く理解し，学習の見通しをもってインタビューの企画，準備，実施，インタビュー記事の執筆活動に臨ませる。	・指導事項：・問う力・質問力が自他の表現および思考の質に大きく関わることを認識し，その種類や機能を学び，活用法を習得する。 ・インタビューを実践することで，問い・質問のもつ力や意義，その重要性を体験的に学習するとともに，インタビューを文章で再現することで，構成力や表現力を養う。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○		［知技］ ・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けている。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め，他者との多様な交流を想定しながら情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の主張の合理性が伝わるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，視点を明確にして聞きながら，話の内容に対する共感を伝えたり，相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の思いや考えを明確にし，事象を的確に描写したり説明したりするなど，表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ［主］コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを粘り強く理解し，学習の見通しをもってインタビューの企画，準備，実施，インタビュー記事の執筆活動に臨もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1

3学期	4　「自分」を表現しよう＜面接・自己ＰＲ＞ ［知技］ ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けさせる。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めさせる。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め，他者との多様な交流を想定しながら情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の主張の合理性が伝わるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の展開や構成を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫させる。 ・「話すこと・聞くこと」において，論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めさせる。 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にさせる。 ・「書くこと」において，読み手の同意が得られるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，反論などを想定して，論理の展開を考えるなど，文章の展開や構成を工夫させる。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫させる。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫させる。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直おさせる。 ［主］自分を表現する活動を通じて，相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことを粘り強く理解し，今までの学習を生かして表現を改善させる。	・指導事項：・自己分析を行い，第三者の意見も踏まえて，客観的に「自分」を把握する。 ・志望理由書・履歴書の作成，模擬面接などで，相手に伝わるように「自分」を表現する。 ・教材： 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○		［知技］ ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けている。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め，他者との多様な交流を想定しながら情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の主張の合理性が伝わるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において，読み手の同意が得られるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，反論などを想定して，論理の展開を考えるなど，文章の展開や構成を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ［主］自分を表現する活動を通じて，相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことを粘り強く理解し，今までの学習を生かして表現を改善しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
										合計
										35

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史　　科 目： 歴史総合　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：播正 圭史

使用教科書：（ 帝国書院：明解 歴史総合 ）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	歴史の扉 【知識及び技能】 身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解させる。 歴史における資料の重要性と、事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現させる。 歴史叙述の特質を踏まえたうえで歴史を学ぶ意義について、考察し、表現する。	・指導事項 歴史と私たち 歴史の特質と資料 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 歴史における資料の重要性と、事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している。 歴史叙述の特質を踏まえたうえで歴史を学ぶ意義について、考察し、表現している。	○	○		2
	「近代化」への問い 【知識・技能】 近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身につける。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 「近代化」に関する６つのキーワードから問いを考える。 立てた問いを踏まえ「近代化」が進む世界を大観する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	1

1学期	江戸時代の日本と結び付く世界 【知識及び技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 18世紀の日本やアジア、ヨーロッパの結び付きについて取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	3
	欧米諸国で生まれる国民国家 【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成の経緯について、資料を読み取り、理解させる。 【思考・判断・表現】 市民革命および国民国家形成の経緯などから、近代化の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や国民国家の形成が、現代社会に与えた影響と課題について、追究する。	・指導事項 欧米で生まれた市民社会や国民国家について取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成の経緯について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および国民国家形成の経緯などから、近代化の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や国民国家の形成が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	産業革命による欧米とアジアの変化 【知識・技能】 産業革命とヨーロッパ諸国のアジア進出によって起こった変化について資料を読み取り、理解させる。 【思考・判断・表現】 産業革命の展開と国際分業体制の広がりが世界に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ諸国のアジア進出がもたらした変化が現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 欧米諸国の産業革命と世界進出が世界の国々に与えた影響について取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 産業革命とヨーロッパ諸国のアジア進出によって起こった変化について資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 産業革命の展開と国際分業体制の広がりが世界に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ諸国のアジア進出がもたらした変化が現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	7
	日本における近代国家の形成 【知識・技能】 日本における近代国家の形成過程と特徴について、資料を読み取り、理解させる。 【思考・判断・表現】	・指導事項 日本ではどのように近代国家が形成されたのかについて取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 日本における近代国家の形成過程と特徴について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 日本での近代国家の成立について、その前後の変化を比較したり関連づけたりして考察し、みずからの言葉で表現している。				

	【思考・判断・表現】 日本での近代国家の成立について、その前後の変化を比較したり関連づけたりして考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本における近代国家の成立とその後の展開が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本における近代国家の成立とその後の展開が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
	帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化 【知識・技能】 欧米の帝国主義に日本が加わることで日本とアジア諸国の関係がどのように変化したか、資料を読み取り、理解させる。 【思考・判断・表現】 帝国主義政策の広がりによって世界的な規模で生じた構造的な変化について考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義の時代におこった事柄が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 帝国主義の動きが近代化が進む東アジア諸国の関係に与えた影響について取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 欧米の帝国主義に日本が加わることで日本とアジア諸国の関係がどのように変化したか、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 帝国主義政策の広がりによって世界的な規模で生じた構造的な変化について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義の時代におこった事柄が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	6
	「国際秩序の変化や大衆化」への問い 【知識・技能】 国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身につける。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校やこれまでの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組む。	・指導事項 「国際秩序の変化と大衆化」に関する５つのキーワードから問いを考える。 立てた問いを踏まえ「国際秩序の変化と大衆化」が進む世界を大観する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校やこれまでの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	1
	第一次世界大戦とその影響 【知識・技能】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・非戦闘員、植民地や従属地域の人々がどのように戦争に関わっていったのか資料を読み取り、理解させる。 【思考・判断・表現】 ヴェルサイユ体制によって形成された新しい国際秩序の特徴について考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦後、国際社会や各国で生じた政治・社会・文化の変化と、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 　第一次世界大戦が、その後の世界に与えた影響について取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・非戦闘員、植民地や従属地域の人々がどのように戦争に関わっていったのか資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ヴェルサイユ体制によって形成された新しい国際秩序の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦後、国際社会や各国で生じた政治・社会・文化の変化と、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
	大衆社会の形成と社会運動 【知識・技能】 大衆社会の成立によって各国で生じ	・指導事項 　大衆社会の成立と国際協調の機運が世界規模で広まっていったことについて取り扱う。	【知識・技能】 大衆社会の成立によって各国で生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。				

	た政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解させる。 【思考・判断・表現】 大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ２０世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【思考・判断・表現】 大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ２０世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	揺らぐ国際秩序と日本の行方 【知識・技能】 世界恐慌から日中戦争の開始に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解させる。 【思考・判断・表現】 日中戦争から国家総動員体制の成立に至るまで、大衆がどのように戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 日中戦争を取り巻く国際情勢と大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 世界恐慌によって、国際協調体制が崩れてしまったことについて取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 世界恐慌から日中戦争の開始に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 日中戦争から国家総動員体制の成立に至るまで、大衆がどのように戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日中戦争を取り巻く国際情勢と大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	4
	第二次世界大戦とその影響 【知識・技能】 第二次世界大戦とその後の冷戦構造に至る国際秩序について、日本と関連づけながら資料を読み取り、理解させる。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 第二次世界大戦とその後の冷戦が、現代の国際社会に与えた影響について取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 第二次世界大戦とその後の冷戦構造に至る国際秩序について、日本と関連づけながら資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	「グローバル化」への問い 【知識・技能】 グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問いを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校やこれまでの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組む。	・指導事項 「グローバル化」に関する７つのキーワードから問いを考える。 立てた問いを踏まえ「グローバル化」が進む世界を大観する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校やこれまでの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	1
	冷戦で揺れる世界と日本 【知識・技能】	・指導事項 アメリカとソ連の緊張とその緩和のなかで、日本を含むアジア・ア	【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す				

	冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	フリカ諸国が、どのようにして独立や自立を目指したのかについて取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	4
３学期	多極化する世界 【知識及び技能】 冷戦下の１960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の選択を比較し、アジア諸国でみられた経済成長の要因や戦後世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 　冷戦下で、各国がどのような過程を経て経済成長していったのかについて取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識及び技能】 冷戦下の１960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の選択を比較し、アジア諸国でみられた経済成長の要因や戦後世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
	グローバル化のなかの世界と日本 【知識及び技能】 冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強まりについて各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 　グローバル化が冷戦終結後の世界にどのような成果と課題を生み出したのかについて取り扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識及び技能】 冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強まりについて各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　　科目 数学Ⅱ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅱ　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：（　星野　眞澄

使用教科書：（ 数研出版　新　高校の数学Ⅱ　　）

教科　数学Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の

科目　数学Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式についての基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 複素数と方程式 【知識及び技能】 複素数と方程式について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2つの数量の関係を関数の式で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象の中に関数を見つけようとする。	・指導事項 複素数と方程式について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	A 複素数と方程式 【知識・技能】 複素数と方程式について理解している。 【思考・判断・表現】 2つの数量の関係を関数の式で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象の中に関数を見つけようとすることができる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	B 図形と方程式 【知識及び技能】 図形と方程式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 図形と方程式をグラフから考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 図形と方程式を，図をかいて視覚的に考察する。	・指導事項 図形と方程式について理解し，具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	B 2次関数の値の変化 【知識・技能】 図形と方程式をもつことを理解している。 【思考・判断・表現】 図形と方程式をグラフから考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形と方程式を，図をかいて視覚的に考察できる。	○	○	○	31
	定期考査			○	○		1
2学期	C 三角関数 【知識及び技能】 三角関数において，三平方の定理を利用して，辺の長さを求める。 【思考力、判断力、表現力等】 測量の問題に三角関数を活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 道路標識やソーラーパネルの具体例を通して，三角関数との関連に関心をもち，考察する。	・指導事項 三角関数の意味やその基本的な性質について理解し，三角関数の相互関係などを理解できるようにする。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	C 三角関数 【知識・技能】 三角関数において，三平方の定理を利用して，辺の長さを求めることができる。。 【思考・判断・表現】 測量の問題に三角関数を活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道路標識やソーラーパネルの具体例を通して，三角関数との関連に関心をもち，考察できる。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	D 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数関数・対数関数を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 測量の問題に指数関数・対数関数を活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数・対数関数の図形的な意味を考察する	・指導事項 指数関数・対数関数を用いて表現し定理や公式を導く力，日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ，指数関数・対数関数を活用して問題を解決する力を培う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用	D 指数関数・対数関数 【知識・技能】 指数関数・対数関数を理解することができる。 【思考・判断・表現】 指数関数・対数関数を活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 指数関数・対数関数の図形的な意味を考察で	○	○	○	31

	を考察する。	・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	指数関数・対数関数の図形的な意味を考察できる。				
	定期考査			○	○		1
3学期	E 微分法と積分法 【知識及び技能】 微分法と積分法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 測量の問題に微分法と積分法を活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 微分法と積分法の図形的な意味を考察する。	・指導事項 日常の事象や社会の事象などと関連付けて微分法と積分法を扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人１台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	E データの分析 【知識・技能】 微分法と積分法を理解することができる。 【思考・判断・表現】 微分法と積分法を活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分法と積分法の図形的な意味を考察できる。	○	○	○	27 合計
	定期考査			○	○		140

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育　　科 目： 体育　　単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年　　組～　　組

教科担当者：（ 小林 ）　　（ 二階堂 ）

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1 単元名 体づくり運動						
	【知識及び運動】 ・体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体は互いに影響し変化すること や心身の状態に気付き，仲間と主体的に関わり合うことができるようにする。 ・実生活に生かす運動の計画では，自己のねらいに応じて，健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	【使用教材】 一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体は互いに影響し変化すること や心身の状態に気付き，仲間と主体的に関わり合うことができる ・実生活に生かす運動の計画では，自己のねらいに応じて，健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができる。	○	○	○	18
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 ①体力テスト練習・実施 ②縄跳び	【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いを助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、話合いに貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、話合いに貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができる。				
1学期	2 単元名 球技 バレーボール						
	【知識及び技能】 ・ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き によって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 一人１台端末の活用	【知識及び技能】 ・・ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き によって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。	○	○	○	18
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。	①バレーボール ・サーブ、レシーブの基礎基本	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。				
	3 単元名 バドミントン						

2学期	【知識及び技能】 ・ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 一人１台端末の活用	【知識及び技能】 ・・ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。	○	○	○	17
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 バドミントン ・バドミントンの基本ルール ・ハイクリアー、ドライブ、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ等各ショットの打ち方、使いどころ ・ゲームにおいての攻め方、守り方の考え方	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。				
2学期	4　単元名　バスケットボール						
	【知識及び技能】 ・ゴール型では，状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・ゴール型では，状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。	○	○	○	17
	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 バスケットボール ・基本ルール ・ドリブル、ハンドリング、ゴール下シュート	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。				
2学期	5　単元名　体育理論　豊かなスポーツライフの設計の仕方						
	【知識及び技能】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、その解決を目指すことができるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人１台端末の活用	【知識及び技能】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、その解決を目指すことができる。	○	○	○	7
	【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 ・生涯スポーツの見方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ	【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。				
3学期	5　単元名　陸上競技						
	【知識及び技能】 長距離走について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて，ストライドやピッチを切り替えて走ることができるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人２台端末の活用	【知識及び技能】 長距離走について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて，ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。	○	○	○	13
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 長距離走 ・インターバル走、レペティショントレーニング、ロングスロウディスタンス等に持久力向上トレーニングについて ・長距離走の呼吸法	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。				

	【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することをできるようにする。	・長距離走の時数法 ・長距離走の足の運び方や手の振り方といった走り方について	【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することをできる。				
2学期	3 単元名 卓球						
	【知識及び技能】 ・ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・・ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。	○	○	○	15
	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 卓球 ・卓球の基本ルール ・フォアハンド、ツッツキスマッシュ等各ショットの打ち方、使いどころ ・ゲームにおいての攻め方、守り方の考え方	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。				

年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術　　科 目： 美術Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：田神 光季

使用教科書：（ 高校美術（日本文教出版） ）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】美術の基本的な知識や技法、歴史を学び自己の作品制作につなげる

【思考力、判断力、表現力等】技法・素材の特性を捉え作品制作に応用するとともに、課題を通して自身を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自他の作品を通して表現の多様性を知り、美術を愛好する精神を養う

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術の知識・技法を学び、作品制作を通して美術作品制作の楽しみを知る。	課題の特徴、技法・素材の特性を捉え、自己作品に活用することができる。自己と向き合い、作品制作につなげる感性を養う。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A 単元 **デッサン基礎** 【知識及び技能】 デッサンの基礎を知り、ワークシート、プリントの作成ができる 【思考力、判断力、表現力等】 影の変化をよく観察し、描画材の濃淡を使うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 プリントに学習内容が適切にまとめられているか。授業を振り返り自己評価をすることができる。	使用教材 ・ ワークシート ・デッサン用具	○				A 単元 **デッサン基礎** 【知識及び技能】 デッサンの基礎を知り、ワークシート、プリントの作成ができる 【思考力、判断力、表現力等】 影の変化をよく観察し、描画材の濃淡を使うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 プリントに学習内容が適切にまとめられているか。授業を振り返り自己評価をすることができる。	○	○	○	2
	A 単元 **手のデッサン** 【知識及び技能】 モチーフの形を捉え、陰影を的確に表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの陰影を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	使用教材 ・ ワークシート ・デッサン用具	○			○	A 単元 **手のデッサン** 【知識及び技能】 モチーフの形を捉え、陰影を的確に表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの陰影を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	○	○	○	6
	A 単元 **色彩構成** 【知識及び技能】 色の属性と特徴を知り、色面の構成に活用することがきる。 【思考力、判断力、表現力等】 形の組み合わせ、色彩を選択することができる 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	使用教材 ・ ワークシート ・アクリル絵具、筆		○			A 単元 **色彩構成** 【知識及び技能】 色の属性と特徴を知り、色面の構成に活用することがきる。 【思考力、判断力、表現力等】 形の組み合わせ、色彩を選択することができる 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	○	○	○	8
	A 単元 **色彩構成　応用** 【知識及び技能】 色の属性と特徴を知り、色面の構成に活用することがきる。 【思考力、判断力、表現力等】 形の組み合わせ、色彩を選択することができる 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	使用教材 ・ ワークシート ・アクリル絵具、筆		○		○	A 単元 **色彩構成　応用** 【知識及び技能】 色の属性と特徴を知り、色面の構成に活用することがきる。 【思考力、判断力、表現力等】 形の組み合わせ、色彩を選択することができる 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	○	○	○	10
2学	A 単元 **ステンドグラス** 【知識及び技能】 西洋美術の歴史、建築を知りステンドグラス作品に活用する 【思考力、判断力、表現力等】 色彩や道具の特徴を捉え、自身の表現に生かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ステンドグラス作品、クラス作品を鑑賞し、感じたことを言語化することができる。	使用教材 ・ ステンドグラス風切り絵のセット ・カッター	○			○	A 単元 **ステンドグラス** 【知識及び技能】 西洋美術の歴史、建築を知りステンドグラス作品に活用する 【思考力、判断力、表現力等】 色彩や道具の特徴を捉え、自身の表現に生かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ステンドグラス作品、クラス作品を鑑賞し、感じたことを言語化することができる。	○	○	○	12

期	A 単元　細密画 【知識及び技能】 モチーフの形をよく観察し作品制作をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 色彩やモチーフのディテールをよく観察し細密描写をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	使用教材　　鉛筆、色鉛筆、画用紙	○			○	A 単元　細密画 【知識及び技能】 モチーフの形をよく観察し作品制作をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 色彩やモチーフのディテールをよく観察し細密描写をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	○	○	○	16
3学期	A 単元　**堆朱キーホルダー** 【知識及び技能】 　中国美術の歴史と日本美術の歴史を知りノートにまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 堆朱の層を活用し削り出しをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	使用教材　　・ワークシート ・堆朱キット	○				A 単元　**堆朱キーホルダー** 【知識及び技能】 　中国美術の歴史と日本美術の歴史を知りノートにまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 堆朱の層を活用し削り出しをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り自己評価を言語化することができる。	○	○	○	16
										合計	
										70	

年間授業計画　様式例

高等学校　令和８年度（3学年用）　教科　　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：（　加藤三奈

使用教科書：（ 光村図書「書Ⅰ」　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。	創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	1　単元名　書写から書道へ										
	【知識及び技能】 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解することができるようにする。	【使用教材】 教科書「書道Ⅰ」、毛筆、墨汁、半紙	○	○	○	○	【知識及び技能】　書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】　漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられるようにする。	【指導項目・内容】 ・国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いについて。 ・書道の三分野と臨書・鑑賞・創作の学習法について。					【思考力、判断力、表現力等】　漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】　芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや小・中学校の国語科で書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養うことができるようにする。						【学びに向かう力、人間性等】 芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや小・中学校の国語科で書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。				
1学期	2　単元名　唐代の楷書										
	【知識及び技能】　● 知識：［表現］楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解することができるようにする。［鑑賞］線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解ができるようにする。　●技能：楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けることができるようにする。	【使用教材】 教科書「書道Ⅰ」、毛筆、墨汁、半紙				○	【知識及び技能】　● 知識：［表現］楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。［鑑賞］線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ●技能：楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。	○	○	○	10
	【思考力、判断力、表現力等】 [表現]楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができるようにする。 [鑑賞]楷書の古典の価値とそのよさや美しさを味わって捉えることができるようにする。	【指導項目・内容】 ・古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて。 ・唐の四大家の人物像や書について。 ・唐の四大家の書を臨書し、書風や用筆・運筆の理解、習得。 ・唐の四大家の書を基に草稿と倣書作品の制作。		○		○	【思考力、判断力、表現力等】　[表現]楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。　[鑑賞]楷書の古典の価値とそのよさや美しさを味わって捉えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】[表現]主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができるようにする						【学びに向かう力、人間性等】　[表現]主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 [鑑賞]主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習				

	ようにする。 [鑑賞]主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができるようにする。					[鑑賞]主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。						
1学期	3　単元名　北魏の楷書											
	●知識：［表現］楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関りについて理解している。［鑑賞］線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解することができるようにする。 ●技能：楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けることができるようにする。	【使用教材】 教科書「書道Ⅰ」、毛筆、墨汁、半紙				●知識：［表現］楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関りについて理解している。［鑑賞］線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ●技能：楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。						
	【思考力、判断力、表現力等】 [表現]楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができるようにする。　[鑑賞]楷書の古典の価値とそのよさや美しさを味わって捉えることができるようにする。	【指導項目・内容】 「牛橛造像記」 ・龍門石窟と龍門造像記について。 ・牛橛造像記の鑑賞・臨書。 「鄭羲下碑」 ・摩崖の書について。 ・鄭羲下碑の鑑賞・臨書。 「北魏の書の倣書」 ・牛橛造像記や鄭羲下碑の書を基に草稿と倣書作品の制作。		○		○	【思考力、判断力、表現力等】　[表現]楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。　[鑑賞]楷書の古典の価値とそのよさや美しさを味わって捉えている。	○	○	○	6	
	【学びに向かう力、人間性等】[表現]主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができるようにする。　[鑑賞]主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができるようにする。					【学びに向かう力、人間性等】　[表現]主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。　[鑑賞]主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。						
2学期	1　単元名　行書の学習											
	●知識：[表現]行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解することができるようにする。[鑑賞]線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解することができるようにする。 ●技能：行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけることができるようにする。	【使用教材】 教科書「書道Ⅰ」、毛筆、墨汁、半紙				●知識：[表現]行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。[鑑賞]線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。 ●技能：行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。						
	【思考力、判断力、表現力等】 [表現]行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができるようにする。 [鑑賞]行書の古典の価値とそのよさや美しさを味わって捉えることができるようにする。	【指導項目・内容】 「行書の学習」 ・行書の成立と用筆法・点画の特徴について。 「王羲之と蘭亭序」 ・王羲之と蘭亭序について。 蘭亭序の鑑賞・臨書。 「空海と風信帖」 ・空海と風信帖について。 ・風信帖の鑑賞・臨書。 ・蘭亭帖、風信帖の書を基に草稿と倣書作品の制作。		○		○	【思考力、判断力、表現力等】 [表現]行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。　[鑑賞]行書の古典の価値とそのよさや美しさを味わって捉えている。	○	○	○	18	
	【学びに向かう力、人間性等】[表現]主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができるようにする。 [鑑賞]主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができるようにする。					【学びに向かう力、人間性等】　[表現]主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。　[鑑賞]主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。						
	1　単元名　仮名の学習											
	●知識：[表現]線質や書風と用筆・運筆との関りについて理解することができるようにする。　[鑑賞]線	【使用教材】 教科書「書道Ⅰ」、毛筆、墨汁、半紙				●知識：[表現]線質や書風と用筆・運筆との関りについて理解している。[鑑賞]線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わ						

3学期	質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解することができるようにする。 ●技能：仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけることができるようにする。					り、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 ●技能：仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 [表現]仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができるようにする。　[鑑賞]仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えることができるようにする。	【指導項目・内容】 ・仮名の成立について。 ・平仮名と変体仮名について。 「蓬萊切」 ・蓬萊切について。 ・蓬萊切の鑑賞・臨書。 「高野切第三種」 ・高野切第三種について。 ・高野切第三種の鑑賞・臨書。			○	○	【思考力、判断力、表現力等】　[表現]仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。　[鑑賞]仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】[表現]主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができるようにする。　[鑑賞]主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができるようにする。					【学びに向かう力、人間性等】　[表現]主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。　[鑑賞]主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				
3学期	2　単元名　漢字仮名交じりの書									
	●知識：[表現]用具・用材の特徴と表現効果との関り、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。 [鑑賞]線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣と関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解できるようにする。 ●技能：目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけることができるようにする。	【使用教材】 教科書「書道Ⅰ」、毛筆、墨汁、半紙				●知識：[表現]用具・用材の特徴と表現効果との関り、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。[鑑賞]線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣と関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。　●技能：目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 [表現]漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫することができるようにする。	【指導項目・内容】 ・漢字仮名交じりの書について。 ・自身の好きな言葉を作品で表現。 ・表現に合わせて草稿を練るとともに用具用材の選択。 ・草稿を基に作品制作。 ・作品の鑑賞・批評会。		○		【思考力、判断力、表現力等】　[表現]漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性等】[表現]主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができるようにする。 [鑑賞]主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができるようにする。					【学びに向かう力、人間性等】　[表現]主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 [鑑賞]主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				
										合計
										70

年間授業計画　新様式例

高等学校　令和８年度（３学年用）　教科　外国語（英語）　科目　英語コミュニケーションⅡ

教　科：　外国語（英語）　　科　目：　英語コミュニケーションⅡ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：（　1組：清水俊秀

使用教科書：（ VISTA English Communication Ⅱ New Edition　　）

教科　外国語（英語）　　の目標：

【知識及び技能】基礎基本の知識である英単語と英文法の知識を体系的に理解するとともに、アウトプットを行い英文として表現することで知識の定着を図る。

【思考力、判断力、表現力等】例文を元にして、学習した文法を活用しながら独自の英文を作成させる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】英語話者の考え方や文化を認識して、積極的に英語を活用して表現しようとする態度、英文を読んだり、聞いたりすることで、そのことについて自ら問題解決しようと挑戦する態度及び創造性の基礎を養う。

科目　英語コミュニケーションⅡ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【正確な聞き取り】 ・ 英語を正確に聞いて、どの絵を指しているのかを聞き取ること。 【適切な聞き取り】 ・ 絵を見なくても、聞いた単語の意味を適切に理解できること。	【正確な発話】 ・ 身の回りにあるものの名前を、アクセントに留意して英語で正確に発音できること。 【適切な発話】 ・ 絵が示すものを、聞き手が理解できるように適切に発音できること。	【言語活動への取り組み】 ・ 基本的な英語の単語に積極的に慣れようとしていること。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・ 必要に応じて辞書などを活用し、学んだ単語を積極的に発話していること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	L.1 World Dance Performances さまざまな伝統舞踊についてのテレビ番組から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 伝統舞踊／映画／イベント／ダンスの授業についてやりとりしたり、頼みごとの経験について発表したり、アンケートの回答を書くことができる。	・指導事項 be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 自己紹介を英語で行えるようになっている。	○	○	○	5
	L.2 A Piece ofCake 英語と日本語の慣用句について、理解して考えを深めることができる。 英語と日本語の慣用句／動物／旅行／アンケートへの意見についてやりとりしたり、旅行／アンケート結果について書いて発表することができる。	・指導事項 疑問文では、疑問詞を用いる場合、用いない場合でその答え方が違うことに留意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	5
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	L.3 Quokka オーストラリアの有袋類の動物クオッカについて、理解して考えを深めることができる。 クオッカ／絶滅危惧種についてやりとりしたり、日常生活について発表したり、好きな歌や本／オーストラリアの動物について考え書くことができる。	・指導事項 一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。また、助動詞の意味の違いに注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	9
	L.4 Designing Stamps 玉木明さんへのインタビューについて、理解して考えを深めることができる。 切手／英語学習／切手についての発表へのコメントについてやりとりしたり、家事について感じていること／日本の切手についての紹介を書いて発表することができる。	・指導事項 I think that ～ の構文を使って自分の考えを言えるようにする。また、動詞のあとの語順に注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	9
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	L.5 Mont-Saint-Michel 【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・江戸時代の生活習慣（歯磨き）について知る。	・指導事項 日本文化を英語で紹介させる。また、動詞と動名詞の違いに注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	6
	L.6 Smart Agriculture	・指導事項						【【知識及び技能】				

	【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界遺産であるマチュ・ピチュとその文化、また複合遺産に指定されている理由について知る。	動詞の過去分詞形に慣れさせる。 また現在、過去、現在完了を使い分けられるようにする。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	6
2学期	定期考査		○	○			○		○	○		1
	L.7 Martial Art on Tatami 【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の行っていることのどのような面をモタラの話が象徴しているかを考える。	・指導事項 能動態と受け身の違いに留意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	6
	L.8 Biologging 【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ミッフィー」でおなじみのディック・ブルーナの社会的役割を知る。	・指導事項 関係代名詞の主格・目的格の使い分けに注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	6
	定期考査		○	○			○		○	○		1
3学期	ER1.　The Open Window 【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然界からヒントを得て作られたものが私たちの暮らしを便利にしていることを知る。	・指導事項 分詞構文を利用して、読み手や聞き手の注意を引く表現ができるようにする。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	7
	ER.2 The Christmas Truce 【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スティーブ・ジョブズのことばや生き方から読み取れるメッセージについて考える。	・指導事項 仮定法過去を使って、自分の考えなどを述べることができるようにする。 ・教材 ・ICT機器 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	○	【【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになっている。	○	○	○	6
	定期考査		○	○			○		○	○		1
												合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校　令和８年度（３学年用）　教科　総合的な探究の時間　科目　総合的な探究の時間

教　科：　総合的な探究の時間　　科　目：　総合的な探究の時間　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　3 学年　　組～　　組

教科担当者：星野　眞澄

使用教科書：　なし　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。	情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	探究① 【知識及び技能】 探究の過程において必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 まとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組む。	・指導事項 ①自身の進路や興味関心に沿ってテーマを設定する。 ②テーマについて探究し、発表する。 ③振り返り ・教材 ワークシート、一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 根拠に基づいて適切な仮説を立てることができている。 【思考・判断・表現】 適切な分量・構成・内容・表現の論文やスライドを期限までに作成し、発表を行うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学校外の先生や研究者等のアドバイスを受けながら，探究の方法や内容について議論をし，主体的に探究を進めている。	○	○	○	12
2学期	探究② 【知識及び技能】 探究の過程において必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 まとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組む。	・指導事項 ①自身の進路や興味関心に沿ってテーマを設定する。 ②テーマについて探究し、発表する。 ③振り返り ・教材 ワークシート、一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 根拠に基づいて適切な仮説を立てることができている。 【思考・判断・表現】 適切な分量・構成・内容・表現の論文やスライドを期限までに作成し、発表を行うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学校外の先生や研究者等のアドバイスを受けながら，探究の方法や内容について議論をし，主体的に探究を進めている。	○	○	○	14
	探究③ 【知識及び技能】 探究の過程において必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 まとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組む。	・指導事項 ①自身の進路や興味関心に沿ってテーマを設定する。 ②テーマについて探究し、発表する。 ③振り返り ・教材 ワークシート、一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 根拠に基づいて適切な仮説を立てることができている。 【思考・判断・表現】 適切な分量・構成・内容・表現の論文やスライドを期限までに作成し、発表を行うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学校外の先生や研究者等のアドバイスを受けながら，探究の方法や内容について議論をし，主体的に探究を進めている。	○	○	○	9 合計 35

年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　農業　科目 農業と情報

教　科：農業　　科　目：農業と情報　　単位数：2　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：鈴木　友理香

使用教科書：（「実教出版　農業と情報　　）

教科　農業　　の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　農業と情報　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元社会を支えるコンピュータ 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の伝達に関して、２進数が活用されていることを理解し、数字の返還について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピューターの仕組みについて探究しようとする力を養う。	・指導事項 情報の伝達についてコンピューターを事例にして取り扱う。 ２進数・１０進数・１６進数の変換を行わせ、それぞれの用途を学ばせる。 ・教材 プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 ハードウェアとソフトウェアについて基礎的・基本的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 インターネットの概要と検索方法について理解を深め、電子メール等を適切に使用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の利便性と危険性を理解した上で、情報端末を活用しようとしている。	○	○	○	10
	B 単元コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 ２年次で学んだ文書作成ソフトフェアの基本的な操作方法を活用して、実践的な資料を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①文書作成において、見やすくわかりやすい文章を作成する工夫を行える。 ②文書作成において、様々なソフトフェアを活用して作成することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 文書作成ソフトに興味・関心を持ち、探究しようとする力を養う。	・指導事項 ２年次に学んだ文書作成ソフトの技術を活用して、書面で案内や地図などを作成する。 ・教材 プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 文書作成ソフトフェアの基本的な操作方法を活用して、実践的な資料を作成できる。 【思考・判断・表現】 文書作成において、様々なソフトフェアを活用して作成することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを活用して文書作成をしようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	C 単元コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアについて、基礎的・基本的な知識や技術を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトウェアを利用してデータの処理とグラフ作成などの視覚化ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表計算ソフトウェアに興味・関心を持ち、探究しようとする力を養う。	・指導事項 ２年次に学んだ表計算ソフトの技術を活用して、発注書や売り上げ表を作成できるようにする。 ・教材 プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 表計算ソフトフェアの基本的な操作方法を活用して、実践的な資料を作成できる。 【思考・判断・表現】 表作成において、様々なソフトフェアを活用して作成することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを活用して表や計算式を取り組もうとしている。				14
	Dスマート農業への展望 【知識及び技能】 スマート農業に利用されるAIなどの人工知能の特徴や性能を理解させ	・指導事項 スマート農業の実例を題材に授業を展開する。１学期に学んだコンピュータの仕組みや伝達について関	【知識・技能】 データの重要性や農業情報システムの役割について理解している。 【思考・判断・表現】				

	る。 【思考力、判断力、表現力等】 データの重要性や農業情報システムの役割について理解し、AIやロボットの考える。 【学びに向かう力、人間性等】 AIや人工知能の特徴を理解し、農業の応用できるのかを探究しようとする力を養う。	連付けながらスマート農業について考えさせる。 ・教材 プリント ・一人１台端末の活用	農業におけるデータの重要性やシステム化についての有用性を考えることが出来る。 プログラム設計の流れを理解し、応用することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業における人工知能やロボット活用について理解を深め、さらに探究しようとしている。				10
	定期考査						1
３学期	ｆ農業情報の分析と活用 【知識及び技能】 農業情報の種類と活用方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 農業生産や農業経営に関する情報について理解し、活用する方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 農業情報の活用方法について探究しようとする態度を養う。	・指導事項 環境に関するデータや食品安全に関するデータを活用し授業を行う。 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 インターネット上にある農業に関する情報の活用技術を理解する。 【思考・判断・表現】 農業生産や農業経営に関するデータを収集し、適切に活用する方法を考え、実践できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業情報の種類や使い方を理解し、活用しようとしている。				21
	定期考査						1
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科 理数 科目 理数探究基礎

教 科： 理数　　科 目： 理数探究基礎　　単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者： 橋本 怜奈　　青木 功太

使用教科書：（ 数研出版 理数探究基礎 ）

教科 理数 の目標：

【知識及び技能】対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとと

【学びに向かう力、人間性等】様々な事象や課題に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦し

科目 理数探究基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探求するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。	多角的、複合的に事象を捉え、課題を解決するための基本的な力を養う。	様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 探究を始める前に 【知識及び技能】 探究の意義や科学的に探究するために必要なことを具体的に示す。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的に探究することの重要性を具体的に説明でき、事例について正しく判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 授業やグループでの話しあいの中で意見を出しあい、他者の意見についても調べて理解を深める。	・指導事項 科学的に探究するために必要な考え方と、研究倫理について扱う。 ・教材 プリント ・一人１台端末の活用 情報収集で使用する。	【知識・技能】 探究の意義や科学的に探究するために必要なことを具体的に示すことができる。 研究倫理について注意すべき点を具体的に示すことができる。 【思考・判断・表現】 科学的に探究することの重要性を具体的に説明でき、事例について正しく判断できる。 研究倫理の重要性を具体的に説明することができ、事例について正しく判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業やグループでの話しあいの中で意見を出しあい、他者の意見についても調べて理解を深めている。	○	○	○	3
	B 探究に用いる技能と実践例 【知識及び技能】 探究に必要な実験・観察・調査に関する基本操作の知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 調査によってどのような実験・観察・調査を用いるとよいか判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に必要な実験・観察・調査に関する基本操作に興味をもち、主体的に学ぶ。	・指導事項 実験・観察における方法や、それぞれの方法に用いる装置・器具の特徴について扱う。 ・教材 プリント ・一人１台端末の活用 情報収集で使用する。	【知識・技能】 探究に必要な実験・観察・調査に関する基本操作の知識や技能を身に付け、活用している。 【思考・判断・表現】 調査によってどのような実験・観察・調査を用いるとよいか判断でき、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究に必要な実験・観察・調査に関する基本操作に興味をもち、主体的に行動する。	○	○	○	9
	C 探究に必要なその他の知識 【知識及び技能】 データの分析に必要な統計学の知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 データの性質によってどのような分析方法を用いるとよいか判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 データの分析に必要な統計学に興味をもち、主体的に学ぶ。	・指導事項 データの分析に必要な統計学について扱う。 ・教材 プリント ・一人１台端末の活用 情報収集で使用する。	【知識・技能】 データの分析に必要な統計学の知識や技能を身に付け、活用している。 【思考・判断・表現】 データの性質によってどのような分析方法を用いるとよいか判断し、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データの分析に必要な統計学に興味をもち、主体的に行動している。	○	○	○	10

2学期	D 探究の流れ 【知識及び技能】 根拠に基づいて適切な仮説を立てることができる。探究計画に必要な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 データを適切に評価し、その関係を分析するなどして、論理的に結論を導くことができる。適切な分量・構成・内容・表現の論文やスライドを期限までに作成し、発表を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学校外の先生等のアドバイスを受けながら、探究の方法や内容について議論をし、主体的に探究を進める。	・指導事項 探究の進め方を理解し、実際に探究を行う。 ・教材 プリント、レポート ・一人１台端末の活用 情報収集や論文・スライド作成で使用する。	【知識・技能】 根拠に基づいて適切な仮説を立てることができている。 探究計画に必要な知識・技能を身に付け、活用している。 【思考・判断・表現】 データを適切に評価し、その関係を分析するなどして、論理的に結論を導くことができている。 適切な分量・構成・内容・表現の論文やスライドを期限までに作成し、発表を行うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学校外の先生や研究者等のアドバイスを受けながら，探究の方法や内容について議論をし，主体的に探究を進めている。	○	○	○	4
3学期	D 探究の流れ 【知識及び技能】 根拠に基づいて適切な仮説を立てることができる。探究計画に必要な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 データを適切に評価し、その関係を分析するなどして、論理的に結論を導くことができる。適切な分量・構成・内容・表現の論文やスライドを期限までに作成し、発表を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学校外の先生等のアドバイスを受けながら、探究の方法や内容について議論をし、主体的に探究を進める。	・指導事項 探究の進め方を理解し、実際に探究を行う。 ・教材 プリント、レポート ・一人１台端末の活用 情報収集や論文・スライド作成で使用する。	【知識・技能】 根拠に基づいて適切な仮説を立てることができている。 探究計画に必要な知識・技能を身に付け、活用している。 【思考・判断・表現】 データを適切に評価し、その関係を分析するなどして、論理的に結論を導くことができている。 適切な分量・構成・内容・表現の論文やスライドを期限までに作成し、発表を行うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学校外の先生や研究者等のアドバイスを受けながら，探究の方法や内容について議論をし，主体的に探究を進めている。	○	○	○	9 合計 35

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科　農業　科目 総合実習

教　科：農業　　科　目：総合実習　　単位数：3　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：（鈴木　友理香）

使用教科書：（ 農業と環境　「実教出版」 食品製造　「実教出版」 ）

教科　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】農業の各分野について実践的・体験的に理解するとともに、実践的な資質・能力を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する総合的な課題を発見し、農業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術を自ら学び、農業の振興や社会貢献を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　総合実習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
農業の各分野について実践的・体験的に理解するとともに、実践的な資質・能力を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術を自ら学び、農業の振興や社会貢献を主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	野菜と果実の加工 【知識及び技能】 果実や野菜の加工について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 食品衛生や製造機器について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生や製造機器について自ら学び、協働的に取り組む姿勢を身に付ける	一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 果実や野菜の加工についてについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 食品衛生や製造機器について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生や製造機器について自ら学び、協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	36
	定期考査			○	○	○	1
2学期	イモ類の加工 【知識及び技能】 イモ類の加工について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 食品衛生や製造機器について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生や製造機器について自ら学び、協働的に取り組むこと。	一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 イモ類の加工についてについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食品衛生や製造機器について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生や製造機器について自ら学び、協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	豆類の加工 【知識及び技能】 豆類の加工について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 食品衛生や製造機器について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生や製造機器について自ら学び、協働的に取り組むこと。	一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 豆類の加工についてについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食品衛生や製造機器について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生や製造機器について自ら学び、協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○	○	1
	豆類の加工 【知識及び技能】 豆類の加工について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】	一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 豆類の加工についてについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】				

3学期	食品衛生や製造機器について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生や製造機器について自ら学び、協働的に取り組むこと。		食品衛生や製造機器について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生や製造機器について自ら学び、協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
						計	104

年間授業計画　様式例

高等学校　令和８年度（３学年用）　教科　　農業　　科目　食品製造

教　科：　農業　　科　目：　食品製造　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：鈴木　友理香

使用教科書：（　食品製造「実教出版」　）

教科　農業　　の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　食品製造　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。	食品製造に興味・関心を持ち、生産性や品質の向上が経営に関与することを学び、主体的に実習に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元４章食品加工と食品衛生 【知識及び技能】 食品により人に健康被害を与えるものが食中毒に限らないことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 製造工程内で遺物混入が起こりやすいかを考え、対策方法を考えることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 食品衛生について興味・関心を持ち、実習内で応用しようとする態度を養う。	・指導事項 ２年次の食品製造では「食中毒」を学んでいるため、異物混入における食品衛生について理解を深める。 ・教材 プリントなど ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 食品製造における異物混入の要因について理解している。 【思考・判断・表現】 異物混入における人体への影響を理解し、製造工程内における異物混入の可能性を調べ、対策を考えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 加工食品の製造に必要となる衛生管理に興味・関心を持ち、加工食品を製造する立場にたって消費者に安心安全な食品の提供ができる実践的な態度を身に付けている。	○	○	○	6
	B 単元５章食品の包装と表示 【知識及び技能】 食品の包装の意義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品への栄養表示などが消費者に対しての影響があることを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品包装にある様々な表示について理解し、実生活でも応用しようとする態度を養う。	・指導事項 原材料・栄養成分・賞味期限などの表示がある理由や利用の仕方を実物を活用しながら授業展開をする。 農業と情報で学んだ文書作成・パワーポイントを活用して製造した加工品の包装イメージを紗作成させる。 ・教材 プリント・包装や食品ラベル ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 食品の包装や表示について、包装素材が商品だけではなく環境に重視いたものが使われ、表示が法令に遵守したものを使い、商品の品質が保証されることが理解している。 【思考・判断・表現】 食品の表示や包装が商品のイメージや品質向上につながっていることを理解し実際に包装表紙のデザインを作成し、説明することが出来るすることが出来る. 【主体的に学習に取り組む態度】 商品の包装や表示が商品のイメージや品質を保証するなど重要な機能を持つということに興味。関心を	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	C 単元　農産物の加工（トマト） 【知識及び技能】 加工食品の原材料としての野菜類の特徴と種類を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ピン詰め・缶詰・ジュースなどの製造原理を理解し説明することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 野菜類の加工品について興味・関心を持ち、学んだ製造方法を活用しようとする態度を養う	・指導事項 ３年総合実習では野菜類を活用して製造実習を展開するため、原理や製法を学ばせる。 ・教材 野菜類・プリントなど ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 加工食品の原材料としての野菜類の特徴と種類を理解している。 【思考・判断・表現】 原材料としてに農産物の特徴を理解し、農産物を主原料とした代表的な加工食品の製造原理を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観に基づいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	6
	C 単元　農産物の加工（果実） 【知識及び技能】 加工食品の原材料としての野菜類の特徴と種類を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ジャムなどの製造原理を理解し説明	・指導事項 ３年総合実習では果菜類を活用して製造実習を展開するため、原理や製法を学ばせる。 ・教材 野菜類・プリントなど ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 加工食品の原材料としての野菜類の特徴と種類を理解している。 【思考・判断・表現】 原材料としてに農産物の特徴を理解し、農産物を主原料とした代表的な加工食品の製造原理を説明できる。				

	することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 野菜類の加工品について興味・関心を持ち、学んだ製造方法を活用しようとする態度を養う		【主体的に学習に取り組む態度】 原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観に基づいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	C 単元　畜産物の加工（肉類） 【知識及び技能】 加工食品の原材料としての食肉の特徴と種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産物を原料として加工品の製造工程を理解し、工程内における問題を発見し、解決策を考え、表現することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 畜産物の加工品について興味・関心を持ち、学んだ製造方法を活用しようとする態度を養う	・指導事項 ２年の食品製造で卵の加工特性を学んだため、ウィンナーなどの食肉を利用する製造品について詳しくを学ばせる。 ・教材 野菜類・プリントなど ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 加工食品の原材料としての畜産物の特徴と種類を理解している。 【思考・判断・表現】 原材料としてに畜産物の特徴を理解し、農産物を主原料とした代表的な加工食品の製造原理を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原材料を畜産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観に基づいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。				4
	C 単元　発酵食品の製造（味噌） 【知識及び技能】 発酵食品の製造原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 発酵作用によって食味などが変化する過程を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 発酵食品のついて興味・関心を持ち、発酵の工程について探究しようとする態度を身に付けさせる。	・指導事項 ３年の総合実習で味噌ので製造実習を行うため、製造原理や発酵に関わる微生物を絡めながら授業を展開する。 ・教材 野菜類・プリントなど ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 発酵食品の製造原理を理解している。 【思考・判断・表現】 発酵食品の製造工程を正確に理解し、説明することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 発酵食品に興味・関心を持ち、発酵食品の歴史や保存方法について学ぼうとしている。				4
	定期考査						1
							合計 35

年間授業計画　様式例

高等学校　令和８年度（３学年用）　教科　　農業　　科目　生物活用

教　科：　農業　　科　目：　生物活用　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：中村　洋介

使用教科書：（　　）

教科　農業　　の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　生物活用　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物活用について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	生物活用「に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	生物活用について、生物の特性を活用し生活の質の向上につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　生物活用の意義と役割 １　生物活用と意義と役割 【知識及び技能】 生物を活用することにより、人間に生活の質を向上させることができることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 園芸作物や社会動物の活用の重要性と生物の活用がもたらす人間への効用などの情報を収集し、適切に選択して活用させる。 【学びに向かう力、人間性等】 体験活動や実践例を通して、園芸や社会動物がもたらす健康効果について見出させる。	・指導事項 生物を活用することにより、人間生活の質がどのように向上・改善できるかのかを学ばせる。 ・教材 授業プリント・教科書 ・一人１台端末の活用 振り返りシートや課題の提出、調べ学習に活用する。	【知識・技能】 園芸作物や社会動物の活用の重要性と生活の活用がもたらす人間への効用などに関する資料や情報などを収集し、適切に選択して活用している。 【思考・判断・表現】 園芸作物や社会動物の活用の重要性と、生物の活用がもたらす人間への効用について思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 園芸作物や社会動物の活用の重要性や活用がもたらす人間への効用について興味・関心を持ち、基礎的な知識を身に付け、人間と生物との関係性について探究しようとしている。	○	○	○	5
	B 単元　生物活用の意義と役割 ２　生物活用とプロジェクト学習 【知識及び技能】 プロジェクト学習の意義や進め方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生物活用を学ぶ目的について説明することが出来る。	・指導事項 プロジェクト学習について理解し、活動の流れを適切に説明できるようにする。 ・教材 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 プロジェクト学習の意義や進め方を理解している。 【思考・判断・表現】 プロジェクト学習の流れを適切に表現することが出来る。	○	○		8
	C 単元２章園芸作物の栽培と加工 野菜・ハーブの栽培と加工 【知識及び技能】 ①野菜栽培の基本や栽培計画などについて理解させる。 ②野菜の加工品の特性や加工方法などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 加工方法の原理や貯蔵方法の仕組みを適切に表現することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 野菜栽培や加工法について興味を持ち、追及させる。	・指導事項 果菜類（トマト・ナス・ピーマン・スイカ）を題材に栽培技術や栽培計画を自ら行えるようにする。個人作を取り入れ、管理に対して責任感を持たせるように工夫し、最後に管理結果を発表させる。 収穫したトマトを活用してトマトピューレを製造し、食品製造と横断的に学ばせる。 ・教材 トマト・ナス・ピーマン・スイカ ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 果菜類の栽培技術や栽培計画について興味・関心を持ち、基礎的な知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 果菜類の栽培計画について自ら考え、適切に表現することが出来る。 野菜の栽培技術について適切に選択し、実践・説明が行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①野菜の栽培や加工について興味・関心を持ち、自ら学ぼうとしている。 ②栽培方法や加工方法について、学んだことを応用して取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	C 単元２章園芸作物の栽培と加工 野菜・ハーブの栽培と加工 【知識及び技能】 コンテナ栽培の特徴やコンテナの種類などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 コンテナ栽培やこれらに適した野菜	・指導事項 果菜類（トマト・ナス・ピーマン・スイカ）を題材に栽培技術や栽培計画を自ら行えるようにする。個人作を取り入れ、管理に対して責任感を持たせるように工夫し、最後に管理結果を発表させ	【知識・技能】 果菜類の栽培技術や栽培計画について興味・関心を持ち、基礎的な知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 果菜類の栽培計画について自ら考え、適切に表現することが出来る。 野菜の栽培技術について適切に選択し、実践・説				

	に関する知識を生かし、プランターや花壇で栽培できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 野菜栽培や加工法について興味を持ち、追及させる。	る。 収穫したトマトを活用してトマトピューレを製造し、食品製造と横断的に学ばせる。 ・教材 トマト・ナス・ピーマン・スイカ ・一人１台端末の活用	明が行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①野菜の栽培や加工について興味・関心を持ち、自ら学ぼうとしている。 ②栽培方法や加工方法について、学んだことを応用して取り組もうとしている。	○	○	○	12
２学期	C 単元２章園芸作物の栽培と加工 野菜・ハーブの栽培と加工 【知識及び技能】 キッチンガーデンの特徴やその栽培方法などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜に関する知識や技術を活用し、キッチンガーデンやベジタブルガーデンを適切に行えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 キッチンガーデンについて興味を持ち、追及させる。	・指導事項 キッチンガーデンを題材に栽培技術や栽培計画を自ら行えるようにする。個人作を取り入れ、管理に対して責任感を持たせるように工夫し、最後に管理結果を発表させる。 。 ・教材 キャベツやハクサイなど葉菜類 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 キッチンガーデンの特徴やその栽培方法などについて興味・関心を持ち、これらについての基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 キッチンガーデンに関する基礎的な技術を身に付けるとともに、季節や場所に応じて栽培技術の工夫を行うことができて、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①キッチンガーデンについて興味・関心を持ち、自ら学ぼうとしている。 ②ベジタブルガーデンについて、学んだことを応用して取り組もうとしている	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
３学期	C 単元２章園芸作物の栽培と加工 野菜・ハーブの栽培と加工 【知識及び技能】 ①植物や園芸作物の活用特徴を理解させる。 ②植物による健康被害や園芸作物に含まれる有害物質について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 植物や園芸作物の活用の特徴や情報を収集し、適切に選択して活用できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 植物・作物がもつ効用について興味を持ち、追及させる。	・指導事項 ４年次の生物活用に向けて草花の基礎。基本的な内容を取り扱う。「食品製造」と横断的に対応し、有害毒などを取り扱う。 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 暮らし・植物及び園芸作物の関係について興味・関心を持ち、これらの利用や活用について基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物による健康被害や園芸作物に含まれる有害物質について理解し、実際に扱う際に留意して活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①植物の健康被害について興味・関心を持ち、自ら学ぼうとしている。 ②植物の健康被害について、学んだことを応用して取り組もうとしている	○	○	○	11
	C 単元２章園芸作物の栽培と加工 野菜・ハーブの栽培と加工 【知識及び技能】 一・二年草や宿根草などの様々な草花の種類やその特性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだフラワーデザインを活用し、花壇に定植図を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 草花について興味を持ち、追及させる。	・指導事項 ４年次の生物活用に向けて草花の基礎・基本的な内容を取り扱う。 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 一・二年草や宿根草などの様々な草花について興味・関心を持ち、種類や特性について基礎的な知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 学んだことを活かして花壇作成図を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①草花の種類や特性について興味・関心を持ち、自ら学ぼうとしている。 ②フラワーデザインについて、学んだことを応用して取り組もうとしている	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

合計
76